

我孫子市消費者の会

お知らせ

2020年9月16日 第46期 No. 6-530

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

やっと少し涼しくなりましたね。8月1日からいきなりの猛暑続きでしたが、皆様お元気でしょうか？

新型コロナウイルスは2～3年は続くだろうと言われてしています。ワクチンの開発が進行中ですが、副作用がないように十分な検証をして欲しいと思います。

私たちは初めから言われている石けんでの手洗いとマスクの上手な使い方を続けましょう。十分気をつけながら、必要な活動は続けて行くことを9月定例会で確認しました。いろいろな集会も行ないます。でも決して無理をしないでください。

10月定例会

日時 10月5日(月) 13:30～16:30
会場 我孫子南近隣センター 8F第一会議室
議題 コロナ禍の中での防災

11月定例会

日時 11月2日(月) 13:30～16:30
会場 我孫子南近隣センター 8F調理室
議題 後半の活動について

会場が使える限り、実施します。ご無理の無いようにご出席ください。判断は各人にお任せします。

市民のチカラまつり

☆市民団体はポスター展示・オンライン配信・一部実演で参加(消費者の会はポスターのみ)
展示: 9/14～27 アビスタストリート
9/24～27 けやきプラザ 第1ギャラリー
オンライン: 9/27 9:00～15:30
実演: 9/27 アビシルベ

オンライン企画/YouTube 配信&Zoom 講座
9月27日を中心に多数の企画があります。

「市民のチカラまつりは我孫子を暮らしやすく、子育てを楽しめるまちにするために、自ら動く人達が主宰する“まちづくり交流イベント”です。

今年はコロナ禍のために対面で行なえないのが残念ですが、子どもさんと一緒に参加できるZoom講座、ママ目線のZoom講座もあるので、ぜひご参加ください。このイベントをきっかけに市民活動に関心を持ったら、「あびこ市民活動ステーション」(けやきプラザ10階)をおたずねください。(市民のチカラまつりの印刷物から引用させていただきました。けやきプラザやアビスタ等に置いてあります。)

高齢社会への対応を探る会 公開学習会として

最後の住まいはどうしますか？

～自宅以外の選択肢、最新事情～

日時 11月18日(水) 14:00～15:30
会場 我孫子南近隣センター ホール
けやきプラザ9階

要申込・コロナ対策のため、定員50名

講師 平岩千代子さん

シニアの住まいと暮らしコーディネーター
チラシを同封します。申込みをお忘れなく。

憲法を考える市民の集い

5月に予定していた講演会をコロナで延期しましたが、人数制限をして開きます。要申込。

憲法とは何かを改めて考える

～日本国憲法公布74周年を前に～

講師 水島朝穂氏 早稲田大学法学学術院教授

日時 10月24日(土) 14:30~16:30
会場 あびこ市民プラザ ホール チラシ同封
廃棄物基本問題調査会の報告から

8月27日に開かれたこの会に、我孫子市消費者の会から、鈴木泰子さんが委員として出席され、詳細な報告を書いてくださいました。

9月の定例会ではその報告書を皆で読み、今後の廃棄物問題を話し合いました。大きなものは次の3つです。

1 再資源化事業促進奨励金について

現在資源回収に対して、自治会や町会ごとに1世帯当たり5円、プラス、古紙、古繊維、金属類、空きびんについては1キロ当たり5円を交付している。しかし、資源を含むゴミの総排出量を削減することを目標にしていることから、量が多いことでインセンティブを付与する仕組みを見直したい。奨励金を現行の2分の1に引き下げたい。また、事務を簡素化するため、交付の頻度を年2回にしたい。

2 新廃棄物処理施設の整備

事業用地内の建屋撤去工事が終了し、現在、土壌汚染対策工事を実施中。これは今年12月に完了予定。指定解除を受けて令和3年2~3月に建設工事に着工する。令和5年(4年度)3月竣工。4月に稼働する。

3 リ・パレットへ

我孫子市のプラスチック系廃棄物は、富津市にあるリ・パレットという会社で、荷物運搬用のパレットに再生されている。見学の予定がコロナの影響で来年度に。

消費者の会での話し合い

買い物をすれば必ずいくつかのプラスチックが家庭に入ります。「マイクロプラスチックにしない」「燃やして地球温暖化の原因にしない」ために、食品を載せるトレーやそのフタは、完全にリサイクルしている「エフピコ」に戻すべき。買い物の時に忘れずに持って行き、スーパーにある回収ボックスに入れるようにしましょう。

ちなみに、この調査会で鈴木さんが提案しても、市のクリーンセンターの職員及び男性の委

員は、スーパー等に回収ボックスがあることも知らなかったそうです。

報告 後藤政志さんの講演会

「原発をつくった」から言えること

9月5日(土) 我孫子市民プラザ・ホールで、コロナ対策を十分にしておき、講演会を開きました。参加者 86名。

協力券で、事前に90名の参加者を確認したため、定員オーバーでお断りした方もありましたが、実際は86名。やはりコロナの感染を気にされた方もあったのでしょう。

後藤政志さんのお話は、原子力発電の仕組みの基本を中心に、東日本大震災の時の福島で何故、水素爆発が起きて、放射能汚染が広まったかを詳しくお話くださり、原子力発電技術は今後使うべきでは無いと、はっきり言われました。

ですから、今ある原発はすべて廃棄に「どうやって安全に廃棄できるかの研究をしなければならない」まして、東海第二原発を動かすなどはもつてのほかと。

福島の時、時の首相は民主党の菅直人氏。「ベントをしなかったから、水素爆発を起こした」と攻められましたが。後藤氏はベントをしていたら、もっと放射能を撒き散らして東日本に人は住めなくなっていたかとも言われました。未だに国の政策は原子力発電に頼っていますが、原発の技術は無いと、後藤氏は言われました。国も本当のことを知って政策を変更して欲しいと強く思いました。

コロナの中の防災

これから台風の季節です。この頃の台風は巨大になる場合が多くなっています。これも地球温暖化のツケとも言われます。

コロナの中でも、避難所に行かなければならないことが起こるでしょう。コロナ感染を恐がって避難所に行かないのでは無く、避難勧告が出たら、行かなくてはなりません。ただ、頑丈な建物で、氾濫の恐れが無いところにお住まいならば、あえて避難しない方が良いとも言われています。

避難袋の中に、今まで以上にタオルやマスクをたくさんと、消毒液も入れておきましょう。

～

～

～

～

どうぞ皆様お元気で！！